



大谷つ子

R8.1.15
第16号



ふるさと大谷を想い お互いを大切にし
未来をたくましく生きる子供の育成

朝日町立大谷小学校
校長 遠藤 秀彦



2026年（令和8年）
午（うま）年



明けましておめでとうございます

2026年（令和8年）がスタートしました。

1月8日（木）は3学期始業式。子供たちが元気に学校に戻ってきました。式では、「四季の山を表す言葉」を切り口にして、3学期の意味について子供たちに語りかけました。（一部抜粋）

冬の山は「山眠る」。葉が落ちて静かな様子を表現しているのでしょう。でも校長先生は、眠っているのではなく、枝を伸ばし、葉を広げ、芽を出し、花を咲かせる「準備」をしているのだと思っています。

春は「山笑う」と言うそうです。

4月にみんなが笑顔でスタートできるように、覚えるべきことをしっかり覚え、次の学年に向けて心の準備をしていきましょう。

3学期は、「次の学年への0学期」です！

さあ、新たな学年へのスタートです！

【校長の新年の思い】

～子供に「失敗させない口出し手出し」をしていないか
「失敗を許さない環境」になっていないか？！～

今年は「午（うま）年」。私は「うま（馬）」と聞いて、昨年放送されていた「ザ・ロイヤルファミリー」というドラマを思い出していました。人間と競走馬の20年にわたる壮大な物語。毎回涙があふれてきました。

そのドラマ全10話中、4話を撮った監督は、高校時代の友人である松田礼人（あやと）氏でした（彼は、昨年夏公開、畑芽育さん、大橋和也さん主演の「君がトクベツ」という映画の監督でもあります）。彼は親が調教師であったため、上山競馬場内で育ちました。その幼少期の体験があったためでしょう、ドラマでは、ちょっとしたしぐさで馬の気持ちを理解する場面や尽きることのない愛情を馬へ注ぐ場面が随所に見られました。

彼の努力や才能はもちろんあったと思います。しかし、幼少期の環境や経験があったからこそ、より観る人の心を揺さぶる映像を撮ることができたのだらうと思いました。

今、「目の前にいる子供たちに、私たちができることはなんだろう？」と考えています。「子供に失敗させたくない」という大人の思いが、「子供の育ちを妨げている」と思うこともあります。私たちは、いつまでも子供のそばにはいられません。私たちの手から離れても、「**まずやってみる！**」という「**挑戦する心**」、そして、「**失敗したらやり直す！**」という、簡単には「**あきらめない粘り強さ**」を培っていきたいと考えながら、来年度の学校経営の構想を練っています。

一筆集中！

1月8日（木）は書初め大会。静寂の中、一筆一筆集中して書き上げました。

【金賞おめでとう】

1年：堀 陽瀬

2年：白田新奈

3年：堀 瑠夏

4年：志藤春人

5年：塚本竜誠

6年：阿部真歩



【職員紹介】 養護教諭 荒木咲妃が産休に入りました。
代替養護教諭として土田厚子が勤務します。

以前、西五百川小学校に勤務していたことがあります。
よろしくお願いします。



1	日	
2	月	読み語り（つむぎの会） 安全点検 縦割班長会 ICT
3	火	ICT
4	水	町スキー記録会（行3：56年） ALT34
5	木	モジュール適用⑦ 町スキー記録会（予備日）
6	金	ALT1256
7	土	
8	日	
9	月	職員会議（2月） 教育課程編成会議
10	火	ICT
11	水	建国記念の日
12	木	サポーターズクラブ②
13	金	学習参観日 P全体会 ALT56
14	土	
15	日	

2月 行事予定

16	月	ICT
17	火	ICT
18	水	音楽集会（月の歌） ALT3456
19	木	モジュール適用日⑧
20	金	委員会⑩（最終） ALT56
21	土	
22	日	
23	月	天皇誕生日
24	火	ICT
25	水	音楽集会（卒業式） ALT3456
26	木	
27	金	6年生を送る会（児1） ALT3456
28	土	